

【単元名】

偉人図鑑を作ろう「きょう土の発展につくす」

【第4学年の目標】

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを実現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

【学習指導要領の内容】

- (4) 県内の伝統や文化、先人の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるようにする。
 - ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
 - (ア) 県内の文化財や年内行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解すること。
 - (イ) 地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解すること。
 - (ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。
 - イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
 - (ア) 歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組みなどに着目して、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現すること。
 - (イ) 当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現すること。

【評価規準】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の技術	社会的事象についての 知識・理解
<p>・人々の生活の向上に尽くした先人の働きや当時の人々の努力に関心をもち、進んで調べようとしている。</p>	<p>・人々の願いや生活の向上と先人の働きや苦心、工夫や努力とを関連付けて適切に表現している。</p> <p>・人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて、学習問題や予想を考え表現している。</p>	<p>・先人の具体的事例について、年表や資料から必要な情報を読み取ったり整理したりしている。</p>	<p>・発展に尽くした先人の働きを理解している。</p> <p>・先人の願いや働きが、当時の人々の生活の変化につながったことを理解している。</p>

【授業の構想】

基本の流れ	構想の具体
1 身に付けさせたい力	<p>これまでに学習した「くらしを守る」や「住みよいくらしをつくる」の単元では、自分たちの生活を守ってくれている人や支えている仕組みについて学んできた。その学習を通して、内容を理解するだけでなく、自分たちの生活にどのように関わっているのかを考えることを大切にしてきた。今回の単元では、浜松の発展に尽くした偉人について学んでいく。その際に本単元でも、偉人の功績ばかり考えるのではなく、生活との結びつきについて考えていきたい。そうすることで、深い学びへつなげ、先人の苦労や思いについて気付かせていきたい。</p> <p>本単元では「偉人図鑑」の作成を行う。自分が興味をもった偉人について調べ、紹介し合うことで、各偉人の共通点について考え、どの偉人の功績も今の生活につながっていることを理解させていきたい。また、学習を通して様々な資料から情報を適切に調べ、まとめる技能を身に付けるようにしていく。</p>
2 単元について	<p>本単元では、浜松の発展に尽くした様々な偉人を紹介し、調べ、まとめていく。その学習の中で、功績ばかりを調べていくと、「地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解すること」というねらいを達成することができない。</p> <p>浜松市は、ゆたかな産業や素晴らしい芸術、文化に恵まれたまちである。そのようなまちの礎を築いた偉人として、単元の始まりに「金原明善」を取り上げていく。当時の浜松の発展に尽くした働きや苦労、思いといった浜松への貢献やその願いを実感できるように、ポイントを絞った資料や実際の道具の体験を通して、その価値を見い出すことができるようにしていきたい。その学習を生かし、個々で他の偉人を調べ、発表し合うことで、この学習のねらいにせまっていく。</p>
3 単元の目標	<p>① 先人の働きや努力に関心をもち、進んで調べようとしている。 (関心・意欲・態度)</p> <p>② 先人の働きによる功績や努力、思いを、浜松の人々の願いや生活の変化と関連付けて表現することができる。 (思考・判断・表現)</p>

<p>4 自ら考え進んで関わる学習を通して</p>	<p>③ 年表や資料から必要な情報を読み取り、偉人図鑑にまとめることができる。 (技能)</p> <p>④ 浜松の発展に尽くした先人の働きを理解することができる。 (知識・理解)</p> <p>浜松市小学校社会科研究部の研究主題は「意欲的に社会的事象を追求し、未来を問いつける児童を育てる社会科学習」である。それを受け、本単元の導入では、終末で作成する「偉人図鑑」を図書室に置き、全校のみんなに浜松の偉人を紹介することを伝え、学習意欲をもたせる。そして、紹介をするときに、なぜその人が偉人なのかをしっかりと伝えられるためにも、それに至った時代背景や思い、苦労があったことも調べる必要があることに気付かせたい。調べた内容はグループ、全体と交流の場を広げ、考えを共有し、意見を出し合うことで考えを深めていく。単元の終末では、「なぜその人は偉人と言われているのか」について、今まで学習してきた様々な偉人の共通点から考えていく。単元全体で学んだことを生かし、どの偉人の功績も思いも素晴らしいものであることを感じさせたい。</p> <p>本指導は、本校のキャリア教育年間指導計画に位置付けられており、社会科のねらいに加え、課題対応能力の育成を目指している。「偉人図鑑」を作成するという学習課題を明確にし、そのために学習の中で調べ学習を多く取り入れていき、なぜその人が偉人と言われているのかを考える課題を個々の力で解決していく。また、調べた内容をグループの仲間と紹介し合う活動の中で、他者の多様な考えを理解し、人間関係形成・社会形成能力の育成につなげていきたい。</p>
---------------------------	---

【単元計画】 「偉人図鑑を作ろう」

	学習活動	支援・留意点
1	浜松の発展に尽くした「偉人」を紹介し、学習への意欲をもつ。 学習課題、計画を立てる。	○子供たちが関心をもつことができるように、したことだけでなく、思いや功績による生活の変化に注目をおこせる。 ○学習の見通しをもたせるために、教師が作った「偉人図鑑」を見せる。
2	昔と今の天竜川を比べて、生活がどのように変化したか話し合う。	○変化だけでなく、それが生活とどのように結びついているかを考えさせる。 ○比較するとき、視覚的に分かりやすくなる図を提示する。
3	金原明善について、年表シート	○付箋に何を書けばいいか分からない子には、まず金原明善が何をしたのか（功績）から考えさせる。 ○金原明善が使った道具を実際に触れ、体験することで、その苦勞について考えることができるようにする。
4	にまとめた後、「思い」、「苦勞・努力」、「功績・生活の変化」の視点に分け、調べたことを付箋に書く。	
5	調べたことをグループで話し合い、金原明善についてまとめ、発表する。	○まとめるときに、同じ意見や似た意見を同じ仲間と分類していくことで、自分の意見に自信をもたせる。
6	金原明善がなぜ偉人と言われるのかを考え、話し合う。	○考えるときに、自分の全財産をかけてまで治水事業を行った偉大さに着目させる。
7	金原明善を「偉人ワークシート」にまとめる。	○書くことができない子のために、前時のまとめを提示する。
8	本田宗一郎について、年表シート	○次時の話し合いがスムーズに行えるように、自分の意見の中で、同じ仲間になりそうなものをまとめておく。
9	にまとめた後、3つの視点に分け、調べたことを付箋に書く。	
10	調べたことをグループで話し合い、本田宗一郎についてまとめ、発表する。	○発表から分かったことを伝える時間を作ることで、各グループの頑張りを認める場とする。
11	本田宗一郎がなぜ偉人と言われるのかを考え、話し合う。（本時）	○理由を考えるときに、3つの視点を全て入れてまとめていくようにする。
12	本田宗一郎を「偉人ワークシート」にまとめる。	○金原明善で作ったワークシートを提示してモデルとすることで、どの児童も作ることができるようにする。
13	自分で選んだ偉人について、資料を読みながら3つの視点について調べたことを付箋に書く。	○選ぶ偉人は「山葉寅楠」、「鈴木道雄」、「高柳健次郎」、「河合小市」の4人の中から自分が興味をもった偉人について調べる。
14	調べたことをグループで話し合い、まとめ、発表する。	○同じ偉人を選んだ他のグループを回る時間を作り、自分たちのまとめに生かす。
15	調べた偉人について「偉人ワークシート」にまとめ、できたワークシートを友達と紹介し合う。	○交流の目的は自分のワークシートを見せ、その偉人について説明することで、なぜその人が偉人と言われるのかを、友達に理解させることであることを説明する。
16	いろいろな偉人の功績によって、自分たちの生活がどのように変わったか話し合い、まとめる。	○偉人たちの共通点から考えることで、どの人たちの功績も今の生活につながっていることに気付かせる。

【本時の学習】（11／16時間）

(1) 目標 本田宗一郎について学んだことから、なぜ偉人と言われるのかを考え、3つの視点で説明することができる。

(2) キャリア教育の目標 (①人間関係形成・社会形成能力)

①自分の意見を分かりやすく伝え合い、友達と協力して活動に取り組んでいる。

(3) 学習過程

学習活動	支援・留意点
<p>1 本田宗一郎について学んだことを復習する。 ○本田宗一郎さんはどんな人だったかな。 ・オートバイを作った人。 ・失敗を繰り返してもあきらめず、世界一の車やオートバイを作ったんだよ。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。 なぜ本田宗一郎はい人と言われるのか考えよう。</p> <p>3 偉人と言われる理由について、自分の考えをグループで紹介し合う。 ○自分で考えた本田宗一郎さんが偉人と言われる理由が書かれている付箋を紹介しよう。 ・僕は本田宗一郎さんが世界一の車を作りたい思いを強くもっていたという付箋を選んだよ。</p> <p>4 新たに資料を提示し、考えを深める。 ○この資料を見て気付くことはあるかな。 ・ベトナムでは、こんなにホンダのオートバイが走っているんだ。 ・本田宗一郎さんは、バイク作りのために大学に行ってまで勉強したんだね。</p> <p>5 前時と新しく提示した資料を参考に、グループで偉人と言われる理由を考える。</p> <p>6 グループごとに発表し、まとめる。 ○友達の意見を聞いて、気付いたことはあるかな。 ・人の役に立ちたいという思いをもっていたことを書いているグループが多いね。 ・日本だけでなく、世界に影響を与えたところがこの人のすごいところだと思うな。</p> <p>7 本時のまとめをする。 本田宗一郎さんは、人の役に立ちたいという思いから、たくさんの失敗を繰り返しても挑戦し、世界に注目される会社に成長させたから、い人と言われている。</p> <p>8 本時の振り返りをする。 ○今日の勉強で分かったことを振り返りシートに書きましょう。</p>	<p>○前時にまとめたホワイトボードを提示し、本時の活動につなげる。</p> <p>○本田宗一郎について、「思い」、「苦労・努力」、「功績・生活の変化」の3つの視点から考えさせる。</p> <p>○金原明善について学んだことを復習し、功績を残したことだけで偉人と言われているのではなく、人々の生活に変化をもたらしたことが大切であることを理解する。 ◇自分の考えを正確に伝えられるために、「思い」、「苦労・努力」「功績、生活の変化」の3つの視点の中のどれに当たるかも加えて説明させる。</p> <p>○資料は本田宗一郎の人の役に立ちたいという思いやホンダという会社が世界へどれほどの影響を与えているかが分かる資料を提示することで、考えを深めることができるようにする。</p> <p>○新たに気付いたことは付箋に書き、ホワイトボードに加えることで、理由を考える活動に生かす。</p> <p>○発表した内容を整理しやすくするために、グループでまとめた意見をホワイトボードに記入し、提示する。</p> <p>○共通点を見つけたり、より偉人と言われる理由にふさわしいものを考えたりして、まとめていく。</p> <p>自分の考えを積極的に伝えたり、友達の考えを聞いたりして、偉人について3つの視点を入れながらまとめることができる。 【発言・ホワイトボード】</p> <p>○本時の自分の成長に着目して振り返りをさせる。</p> <p>○気付きや思いを共有するために数人に発表させる。</p>